

## とまりきょうわ 泊共和線 バイパス整備事業

その先の、道へ。北海道



Hokkaido. Expanding Horizons.

一般道道泊共和線は、泊村大字茅沼村の国道229号側を起点とし、共和町国富の国道5号に至る延長約18kmの幹線道路です。北電泊発電所周辺地区の地震・津波災害などの自然災害と原子力災害の複合災害による道路の寸断や避難車両による混雑を考慮して、多数の住民の迅速かつ確実な避難、また救助・救援活動や救援物資輸送が早期に可能となるよう、行き止まり道路の解消及び避難道路複線化のため、新たな道路を整備し、地域住民の安全・安心の確保を図ります。

### 《事業概要》

事業延長 : L=16.1km  
 事業期間 : 平成25年度～令和5年度(予定)  
 全体事業費 : 約334億円  
 事業内容 : 道路工、トンネル、橋梁など

### 《位置図》



出典：国土地理院

### 《標準断面図》



### 《整備効果》

より安全な避難動線の確保

国道229号の代替機能を確保する等、道路寸断による孤立化を防ぐ。

孤立防止

津波浸水により通行止めの恐れが高い

津波浸水想定区域

国道5号への避難経路を複数確保

凡例  
 津波浸水想定区域  
 津波浸水想定区間  
 行き止まり通行止め泊発電所

### 《茅沼トンネル》



### 《茶津大橋》



### 《国富工区》



## おたるかんじょう 小樽環状線 バイパス整備事業

その先の、道へ。北海道



Hokkaido. Expanding Horizons.

一般道道小樽環状線は、小樽市塩谷を起点とし小樽市新光に至る全長13.1kmの路線であり、小樽市内の環状機能を担うとともに小樽市と周辺町村を結ぶ地域の産業、生活を支える幹線道路です。

当該事業は交通事故の危険性の高い急勾配・急カーブの連続する隘路区間を解消し、安全で円滑な道路交通の確保を図るとともに、北海道横断自動車道小樽塩谷ICへのアクセス改善により、小樽市と周辺町村との地域連携の強化を図ります。

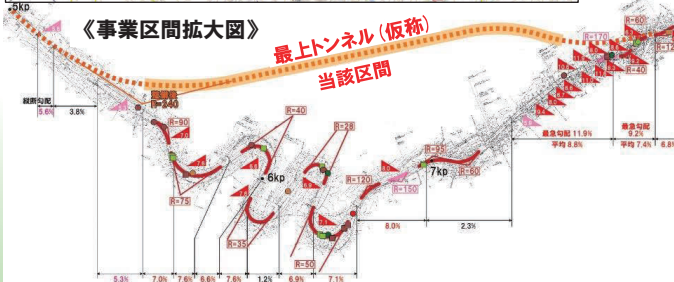
### 《事業概要》

事業延長 : L=1.82km  
 事業期間 : 平成24年度～令和8年度(予定)  
 全体事業費 : 約76.2億円  
 事業内容 : 道路工、トンネル新設、橋梁拡幅など

### 《位置図》



### 《事業区間拡大図》



### 《現在の交通状況写真》



連続急カーブと急勾配

交通事故状況

現在の道路は勾配6%を越えかつ急カーブが連続しており、直近15年間で20件の事故が発生し、歩行者の被害も発生しています。  
 トンネルを含めたバイパスルートにより急勾配および連続急カーブ区間を回避できるため、車両事故および歩行者の被害減少が期待できるとともに、救急搬送の時間を短縮できるようになります。

### (期待する効果)

1. 連続急カーブ区間の解消による安全性の向上。
2. 救急搬送時間の減少。
3. 北海道横断自動車道 小樽塩谷ICへのアクセス改善。